

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	愛知県精神医療センター
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市千種区徳川山町四丁目1番7号
工場等の名称	愛知県精神医療センター
工場等の所在地	名古屋市千種区徳川山町四丁目1番7号
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	精神病院
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年8月2日 ～ 令和6年10月31日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 愛知県精神医療センター
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-763-1511		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

私たちは、地球温暖化対策をはじめとする環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

- 1 環境施策の継続的な改善を図ります。
- 2 省資源・省エネルギーの活動を推進します。
- 3 廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進します。
- 4 職員への環境教育をすすめ、センター外に対しては環境情報の公開を進めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

【省エネ委員会】

委員長：院長

副委員長：事務部長

委員：各部長等

↓

全職員

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2, 253	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換排 算）出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二室素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2, 253	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量	2, 205	t-CO ₂	2, 172	t-CO ₂	2, 271	t-CO ₂	2, 253	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			1. 5	%	▲ 3. 0	%	▲ 2. 2	%		%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりの みなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

当センターは、平成30年2月に各種の省エネ設備を導入した建物として全面改築オープンしていますが、令和5年度は基準年度である令和3年度に比較し、5月～9月の平均気温が高く、エアコンの負荷が増えて燃料である都市ガス、電気の使用量が増加したことにより、基準年度に比べて2.2%の増となりました。 今後とも病院環境に注意しながら、エネルギーの節約に努めていきます。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理／エネルギー使用量等の把握及び管理	・組織横断的な委員会等を設置し、取組目標を設定 ・エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析 ・使用実態を見える化		・毎日、都市ガス等エネルギー使用量、水道使用量、気温天候等を計測・記録し省エネの分析実施
省エネルギー・省資源の推進／冷暖房	・設備の運転時間、温度の適切な管理 ・中間期等は積極的な外気の導入により、空調機又は熱源機の運転時間を削減（外気冷房）		・季節の変わり目においては、外気温を踏まえ送風対応実施
省エネルギー・省資源の推進／冷暖房	・ブラインド、ロールカーテンの活用等により日射負荷を削減		・ブラインド、ロールカーテンの活用実施
省エネルギー・省資源の推進／照明	・昼休みや残業時には不必要な照明を消し、必要な場合はスポット照明を採用 ・一部残存の蛍光灯を更新時に順次LEDに変更 ・一部廊下の間引き照明の実施 ・照明時間の短縮可能場所の洗い出し、実施検討		・不必要な照明を消灯
省エネルギー・省資源の推進／その他	・省エネ型の自動販売機の採用 ・トイレの洗浄水、便座の適切な温度管理 ・職員への階段利用の促進		・省エネ型自販機利用 ・トイレ洗浄水、便座の適切な温度管理 ・階段利用促進の周知
自動車利用における取組	・公共交通機関や自転車の利用を促進 ・急発進・急加速をしない、アイドリングストップの確実な励行などのエコドライブを推進 ・公用車更新時に次世代自動車を導入要求		・公共交通機関利用促進 ・エコドライブの推進 ・令和 5 年 9 月に公用車 1 台を次世代自動車に更新

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
平成28年度	太陽光発電設備	最大出力16.5kW、5年度22,118kWh

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・ 擬音装置設置済 ・ 文房具類をグリーン購入法の対象品購入を促進 ・ 職員等への環境教育を定期的を実施する ・ 一部非常灯を除くLED化実施済 ・ 資源化できる紙の分別、ペットボトル等のリサイクルに努める

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・ 定時退社に努める ・ 階段利用を促進する。
